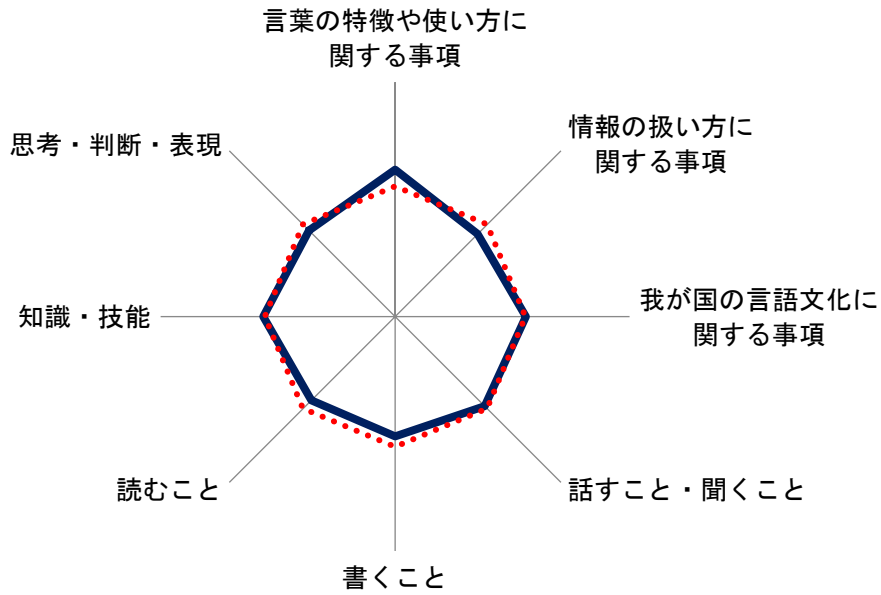


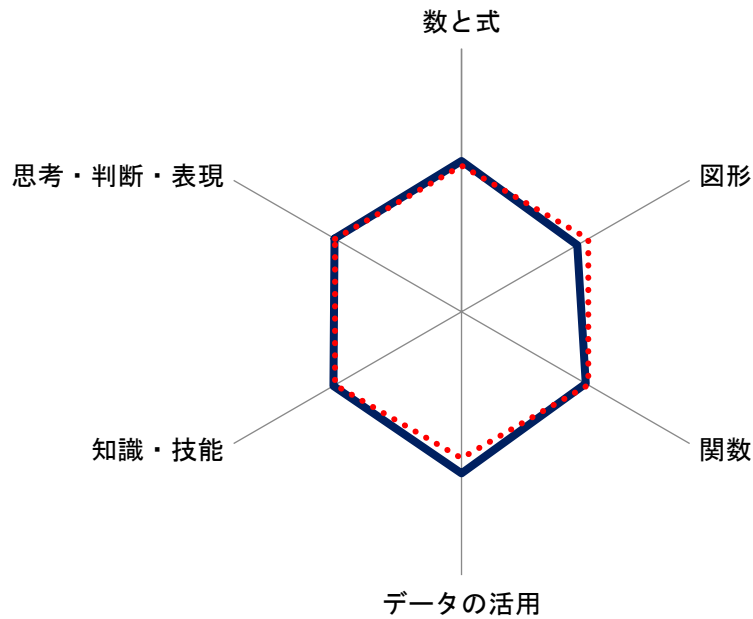
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 市平均  
..... 全国平均

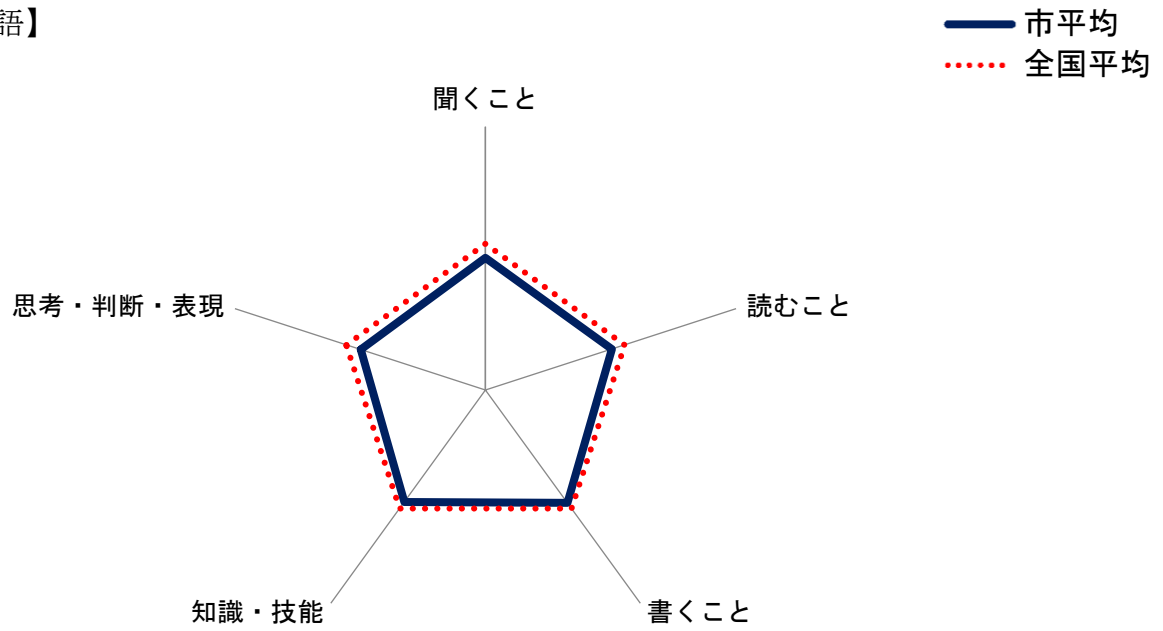


【数学】

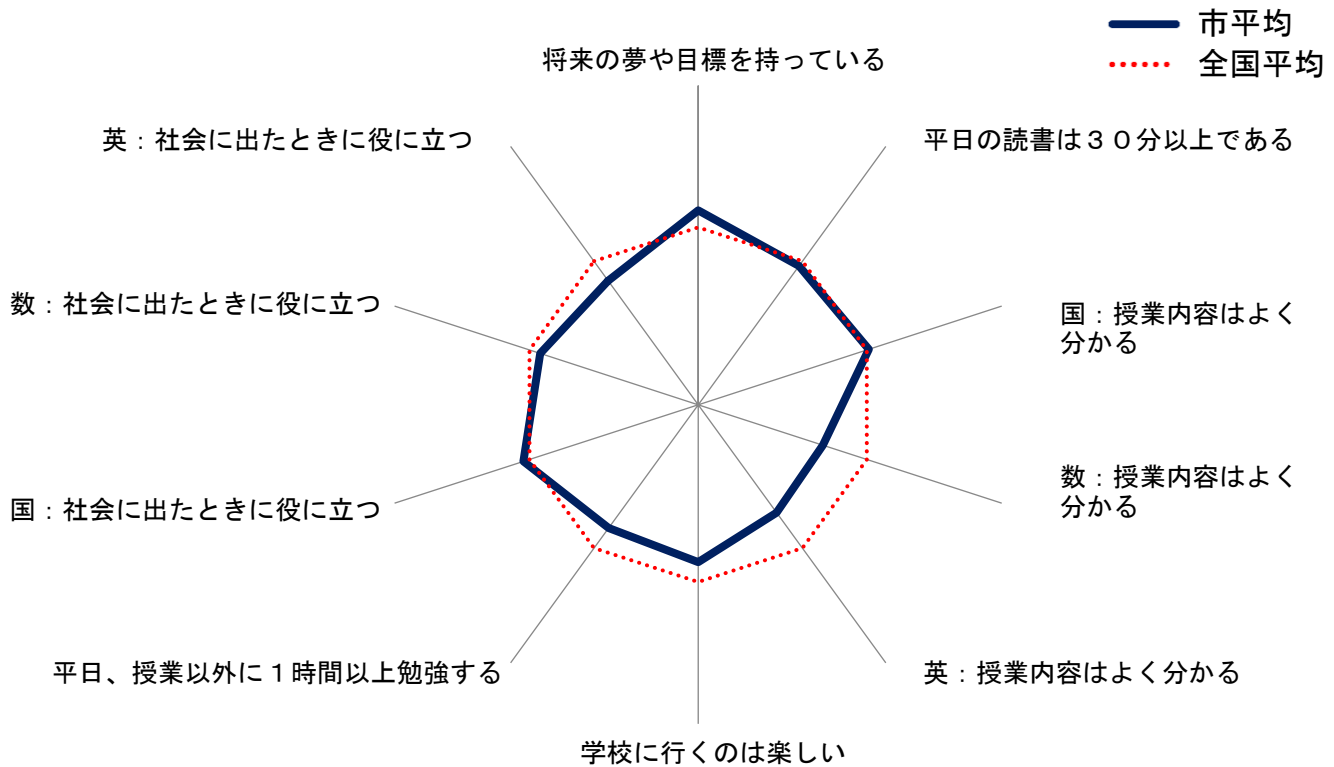


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学のほとんどの項目が全国平均とほぼ同じである。特に、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」の項目が全国平均を上回っており、良好な結果である。一方、英語の全ての項目が全国平均を下回っており、英語によるコミュニケーションを図る資質・能力に課題が見られる。今後、設問ごとに詳細な分析を行い、課題を洗い出すとともに、市独自の授業モデルによる授業改善を推進することで、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成や英語力の向上が望まれる。

生徒質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」の項目が前回調査に引き続き全国平均を上回っており、キャリア教育の充実を図った取組の成果がうかがえる。一方、数学、英語の「授業内容はよく分かる」、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」の項目が全国平均を下回っている。今後は、基本的な学習習慣の確立に向け、学校、家庭が連携した取組等を工夫するとともに、生徒にとって「分かる、できる」を実感できる授業になるよう、適切にICTを活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図った授業改善をより一層推進することが望まれる。